

箕面市障害者事業団 ニュース

令和7年(2025年)1月

発行のごあいさつ

昨年1月1日、「能登半島地震」に見舞われた能登半島北部、その傷も癒えていない状況の中で、9月には「能登半島豪雨」により再び大きな被害を受けつつも復興に向けて踏ん張っておられる現地の方々に対して、心からお見舞いを申し上げます。

この箕面でも、様々な団体が支援活動を展開されていますが、当事業団としても、箕面市人権啓発推進協議会「障害者市民問題啓発研究部会」に参画し、協力して支援活動をすすめています。

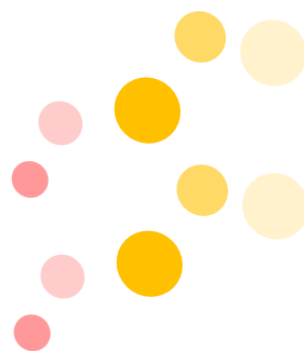
また、災害はいつどこで発災するかわからないという認識のもと、箕面市主催、当事業団運営の「みんなで考える障害者福祉啓発講座」でも、改めて「障害者が安心して暮らすための災害時の備えについて、その2(第2回目:2月25日実施)」と題し、佛教大学の後藤先生にご講演いただきますので、ぜひ皆さんもご参加いただければと存じます。

昨年11月に新たに雇用いたしました1号職員2名とともに、職員一同、体調には十分注意しながら業務を進めていきたいと思っています。本年も引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いしつつ、今年も「事業団ニュースレター」をお届けいたします。ご一読いただければ幸いです。

新理事長が就任され、新たな体制になりました

昨年6月の理事会で、奥山勉氏が退任され、新たに笹川實千代理事長が就任いたしました。奥山前理事長には、3期6年に亘り事業団を支えていただくとともに、私たち職員には、障害者事業団の設立時に箕面市役所の立場で関わってくださったご経験を踏まえ、当時の障害者支援の状況や、当事者の皆さんや行政の立場からの障害者事業団の各事業を作り上げる際の熱い思いを、折々にお聞かせいただきました。なお、奥山前理事長は、障害者事業団の相談役として、諸活動についての相談、助言を引き続きいただいております。

笹川理事長からは、さっそく障害者事業団の各事業の目的や意義、抱えている課題について矢継ぎ早に質問をいただいております。お話をさせていただく中で、自分たちも様々な気づきや学びを得ることにつながっています。

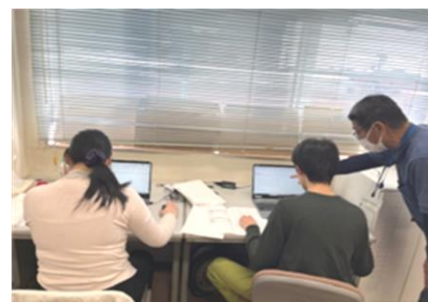


箕面市障害者事業団 令和6

令和6年の障害者事業団であった様々な出来事や取り組みについて、各部署からご紹介させてい

箕面市障害者雇用支援センター

箕面市障害者雇用支援センター（以下、こよせん）では、多様なニーズに対応すべく、今年度新たにトレーニング用のパソコン6台を新規に導入いたしました。訓練生の中にはパソコンを一度も触ったことのない方、学校で勉強したことがあるけれど忘れてしまった方、前職でパソコン業務をしていた方など、レベル感は様々です。



ただ、最近ではタイムカードや給与明細も電子化が進み、パソコンを使って行う企業も増えており、パソコンに触れておくこと、少しでも慣れておくことは企業就労を目指す上で大切なことです。こよせんでは、それぞれの訓練生のレベルや理解度に合わせて、パソコンのスキルアップを目指して支援を行っています。もちろんパソコンだけでなく、様々なトレーニングを通して、今年も訓練生の『できた！』を増やす支援を職員一同行っていきます。

豊能北障害者就業・生活支援センター

豊能北障害者就業・生活支援センター（以下「就ぽつ」と言う）では働いている人・働きたい人・働いている人が勤めている会社の相談支援をしています。また、相談だけでなく、勉強会の企画や関係機関等から依頼があると講師を担うこともあります。

そんな活動の一部をご紹介します。

第46回総合リハビリテーション研究大会が豊中市で開催となり、「リハビリテーション医療と就労支援機関の役割と連携～高次脳機能障害を中心に」にシンポジストの一人として参加しました。大阪府内の就ぽつに提供



いただいた支援の実態を携え、医療、就労支援機関の役割の違いやより良い連携について、考えました。

大会の運営にも携わることにより、普段関わらない方々と交流ができ、地域での連携に発展するのではと期待に満ちた大会となりました。

登録者とそのご家族向けには、「とよの権利擁護支援センターとも」さんを講師にお招きし「暮らしに潜む不安」と題して勉強会を開催しました。「成年後見は聞いたことはある程度」「できないこともあるのね」等、我々も一緒に学ぶ機会となりました。

2025年も就労支援に役立つ企画を考えていきます。

年(2024年)の取り組み色々

ただきます。

環境クリーンセンター



箕面市内で発生したごみの受け入れ・分別・資源化を行う「環境クリーンセンター事業」も、開始から約2年が経過します。当初は常に全力投球で忙しかった現場も、チームワーク・スキルが向上したからか、安全を意識しながら余裕を持って運営できるようになってきました。

(左：スプレー缶のガス抜き作業)

これまで30年以上取り組んできたかんびん選別を行う「リサイクル事業」と、施設の清掃を行う「ビルメンテナンス事業」もあわせ総勢36名の職員で、これからも市民生活を支える仕事を行っていきます。

(右：かん選別作業)



2024年 こんなことがありました（事業課）

2月	講座：知的障害を持つ人たちが発信される放送局など紹介。
3月	東【あずま】さん（1号職員）定年退職。33年間、お疲れ様でした。 柴田さん（1号職員）退職。31年間、お疲れ様でした。 森岡さん（1号職員）定年。以後は継続雇用職員として喫茶店で勤務。 講座：障害者自身が中心となって「ともに生きる社会」の実現を目指す取り組みを紹介。
6月	ペットボトル選別業務のワークシェアがはじまる。
8月	前月、20年ぶりとなる新札発行を受け、喫茶店券売機の改修をする。
10月	「ライプラまつり」に実行委員及び出店事業所（屋台&ゲーム）として参加。
11月	戸川さん、比嘉さん（1号職員）が仲間に加わる。 「あかつき園」建替えのため「瀬川緑化事務所」を「みのおライフプラザ」へ一時移転。
12月	講座：「ろう者のオリンピック～東京2025へ～」デフリンピックの魅力、手話など紹介。

※ 昨年度の講座概要は、当法人HP お知らせをご覧ください。

新人1号職員からひとこと

昨年11月に新たに加わった2名の職員に、インタビューしてみました。

① 仕事内容

・スプレー缶のガス抜き処理や持ち込まれたごみの分別をしたりしています

② 仕事で大変なこと

・量が多く、数えきれないほどの量があります

③ 働いてみて良かったこと

・仕事が楽しく、周りの人とも冗談を言ったりして良い関係で出来ています

④ お給料の使い道

・趣味のトミカ集めに使っています

⑤ 今後の目標

・土日などの休みの日に消防団に入って活動してみたいと思っています



比嘉 光平 さん



戸川 結加里 さん

① 仕事内容

・公園や花壇にお花を植える作業をしています

② 事業団で働いてみて

・覚えることがたくさんで大変でした

③ 働いてみて良かったこと

・花を植えたり、水をあげたり、自分で考えて作業ができることです

④ 今後事業団でチャレンジしたいこと

・車の運転に挑戦したいです

⑤ 今後の目標

・お金を貯めることと、仕事ができるようになることです

箕面市障害者事業団 ニュース 令和7年(2025年)1月

発行：一般財団法人 箕面市障害者事業団

〒562-0015 大阪府箕面市稲一丁目11番2号 ふれあい就労支援センター4階

電話 072-723-1210 FAX 072-724-3383 Email info@minoh-loop.net